

令和元年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の育成
 (2) 基礎基本の定着と学力向上
 (3) 進路指導の充実
 (4) 本校教育活動の広報推進
 (5) 安全・安心な学校としての環境づくり

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 個々のつまずきや学習上の特性に関する情報の共有及び各事例に対する指導の手立ての研究	B	各生徒の学習面での特性や現状について、職員間で必要な情報共有を図っている。このことを生徒の学習上のつまずきやその手当について、より一層生かしていく。	B	B
	② ICT活用や学び合いの充実に係る校内研修及び他校好事例研究	A	これまでもプロジェクターやタブレット機材を用いた授業を行ってきたが、教室内のICT環境整備により、さらに活用が拡大している。	B	A
学校関係者評価委員会における意見	ICTを活用した学習は生徒たちが一番入り込みやすい学習の時間でもあります。たくさん活用してください。また、ICT環境整備においてインフラ（通信）の整備も早急に進めていくべきである。				
生徒指導	① リーダーの養成、自主的な生徒会活動	B	学校行事において、生徒が主体的に活動する場面の設定を増やし、生徒の自主的な活動が少しずつ見られるようになってきた。	B	B
	② 生活態度の育成、よりよい生活習慣の涵養、交通安全指導の徹底	B	日々の声がけや巡回指導を行いながら、各生徒に応じた生活態度や学習姿勢の育成を図る指導を行っている。引き続き生徒を見守りながらの指導を継続する。	B	B
	③ 部活動の充実	A	運動部を中心に生徒の活動が充実しており、各種大会での活躍も見られた。文化部についても発表機会の確保などの支援を図っていく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	部活動が充実しているのはとても良いです。社会人として仕事をする際、挨拶や相談をすることがとても大事ですが、それらがなかなか出来ずに、仕事でマイナスになってしまいます。挨拶からはじめて、コミュニケーションをとれる人に育ててほしいです。				
進路指導	① ソーシャルスキル向上、キャリア教育の充実	B	外部講師を招いた講話の機会をつくり、勤労観の育成を図っている。本校卒業生による講話では、全生徒が特に関心を持って耳を傾ける姿が見られた。	B	B
	② 勤労意欲の育成と進路達成支援	B	就労（アルバイト）への啓発と就労率を高めながら、勤労意欲や社会性の涵養、進路への意識付けを行っている。連携コーディネーター等の活用をさらに工夫しながら、生徒に対する一層の支援の充実を目指す。	B	B
学校関係者評価委員会における意見	進学も就職も、例えば安定した就職先に勤めることが良いことととらえがちですが、外見上良くても勤めてから「合わない」ことがあるので、いろいろな情報を得ながら、進路を決定していける進路指導をお願いします。また、先生や保護者以外の人と接する機会をさらに増やすことも大切だろうと思います。				
学習環境等	① 校舎供用、グラウンド整備、体育館建築等を踏まえた防災計画	B	昨年度完成した新校舎に続き、今年度はグラウンド整備が完了し、新体育館建設が着工された。変化する校内状況を踏まえた防災計画の見直しを図っている。	B	A
	② 個に応じた支援、教育相談の充実	A	生徒の個性や心身の状況を把握しながら、職員間での情報共有、そしてSCやSSWとの連携により、生徒に対する支援と相談の充実を図っている。	B	A
学校関係者評価委員会における意見	早期にエアコンの整備がなされることを願います。また新体育館建設工事に伴う車両出入りには十分注意し、生徒の事故防止をお願いします。				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 個に応じた学習支援の充実	個々のつまずきや学習上の特性を踏まえながら、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりやより効果的にICTを活用しながら、生徒の学習意欲や学習理解の向上につながる支援を図っていく。
② 基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成	SC、SSWとの連携を含めて、生徒一人一人の状況に関する情報共有を密にしながら、個に応じた声がけも引き続き行い、集団生活において必要な規範意識や態度の育成を図る。
③ 社会性の涵養と進路指導の充実	ソーシャルスキルトレーニングや外部講師を活用した行事などを通して、社会適応力の育成と個々の進路目標の設定やその実現のプロセスについての指導の充実を図る。